

重点的に取り組む主な経営課題

8 働きがいも
経済成長も11 住み続けられる
まちづくりを

経営課題5

【戦略的なシティ・プロモーションの推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で設定＞

歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【令和元年度 区民モニター】※＜>は平成30年度区民モニター

・区役所が行う歴史的・文化的資産の情報発信が十分にできていると感じる区民の割合 71.6%<72.4%>

【平成25年度 区民モニター】（「天王寺区ギャップ調査」等）

・区内にある歴史的・文化的施設やイベントなどの情報を発信し、多くの方に天王寺区を訪れていただきにぎわいのあるまちづくりをめざす方向性に賛同する区民の割合 86.6%

・区民の持つ天王寺区のイメージ

「神社仏閣が多い街」93.5% 「歴史のある街」91.9% 「文教都市（学校が多い街）」86.2%

・区民が今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージ

「神社仏閣が多い街」20.3% 「歴史のある街」18.8% 「文教都市（学校が多い街）」10.9%

【平成30年度「あなたの声をつなげ隊」による意見聴取】

・今後の天王寺区役所と地域住民・団体との連携イベント企画へのご意見

歴史ウォーク 95件(28%)

音楽イベント 62件(18%)

まちバル 60件(17%)

※(%)はいただいたご意見数(計345件)に対する割合

計
画

要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

・区民の持つ天王寺区のイメージと、今後PRに力を入れた方が良いと思うイメージとが一致しており、さらなるPRが求められている。

・区内には、約200もの社寺や動物園、美術館など多くの歴史的・文化的資産が集積し、様々な伝統行事等が開催され、また、「天王寺 真田幸村博」(平成26・27年度)も盛況のうちに終了した。こうした取組の結果、区役所が行う情報発信が十分だと感じる割合は7割を超え、一定、効果的なプロモーションが進んできていると考えられる。

・「天王寺 真田幸村博」の終了後も、地域住民・地域団体・企業等によるイベントの実施など地域の主体的なプロモーションが着実に進捗しており、こうした取組みを区としてしっかり支援していく必要がある。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

区内の歴史的・文化的資産の効果的な情報発信による天王寺区のまちのブランディングの強化

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・天王寺区の有する豊富な歴史的・文化的資産を活かして、区の魅力を内外に発信するため、地域の観光ボランティア団体や中央区、阿倍野区、住吉区と連携し、令和3年に没後1400年を迎える聖徳太子のゆかりの地を巡る「聖徳太子ウォーク」を開催することで、魅力的な情報発信に努めながら、住民主体の情報発信活動をサポートできたと考える。

・奈良県で設置された「聖徳太子プロジェクト推進協議会」への参加により、同県発行の「聖徳太子ゆかりの地マップ」への四天王寺の掲載や奈良県主催の「聖徳太子シンポジウム」において、聖徳太子ゆかりの地として天王寺区PRブースを出展するとともに、民間企業（JR西日本）主催の歴史関連イベントへの協力を行った。これらの取組みにより、歴史と文化あるまち「天王寺区」を広く周知できたと考える。

・引き続き、地域団体や民間企業による歴史・文化資源を活かした天王寺区の魅力発信に関する様々な取組みをサポートすることで、多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出を図る。

自
己
評
価

めざす成果及び戦略 5-1 【天王寺のまちのブランド力の強化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできている状態		戦略（中期的な取組の方向性）	
	アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） 天王寺区の魅力発信・観光振興ができていると感じる区民の割合 令和3年度までに 80%以上		・地域住民・地域団体・企業等が主体的に行う天王寺区の魅力発信につながる取組を支援し、天王寺区のブランディングの一層の強化に取り組む。 ・また、天王寺区の効果的な情報発信にあたって、周辺区や関係先と連携した歴史ウォーク、地域団体等の主体的にぎわいづくりの取り組みの積極的なサポート、令和3年に没後1400年を迎える聖徳太子の情報発信など、上町台地の歴史的・文化的資産の魅力発信し、天王寺区のシティ・プロモーションを積極的に展開する。	
自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカム指標の達成状況		前年度	個別 全体
	天王寺区の魅力発信・観光振興ができていると感じる区民の割合 64.6%		71.6%	B B
	戦略の進捗状況		a	「天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等」の9割が区からの支援が行われていると感じているものの、アウトカムは前年度実績を下回っており、区民へのさらなる情報発信が必要。 今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須 令和3年に没後1400年を迎える聖徳太子など、歴史・文化資源を活かし、地域主体の天王寺区の魅力発信の取組をサポートするとともに、区民への情報発信を強化する。
			A: 順調 B: 順調でない	
			a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組5-1-1 【天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業】

		30決算額	1,164千円	元予算額	1,566千円	2予算額	1,838千円
計画	当年度の取組内容		プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）				
	「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」を実現するため、周辺区と連携して歴史ウォークを開催するなど天王寺区の歴史・文化の魅力発信するとともに、地域住民・地域団体・企業等が主体的に行うにぎわいづくりに資する取組について、区が有する広報媒体等を活用して情報発信する他、共催や後援による支援を行う。 ・聖徳太子ゆかりの地などを巡る歴史ウォーク 2回 ・聖徳太子をテーマとした講演会 1回 ・「聖徳太子プロジェクト推進協議会」(事務局:奈良県)への参加 ・天王寺区歴史文化を活かした地域主体のイベントへの支援 適時 ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加 ・吹奏楽フェスティバルの開催 1回 ・上町台地周遊マップ(元年度版)の増刷・配布 10,000部 ・天王寺七坂顕彰板修繕 1基		天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等のうち、区による支援が行われていると感じる割合 80% 【撤退・再構築基準】 50%未満の場合は、事業手法を再構築する。				
中間振り返り	プロセス指標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
	戦略に対する取組の有効性	—	—				
自己評価	当年度の取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
	・聖徳太子ウォーク(北コース・南コース) 2回 ・JR西日本主催の歴史関連イベントへの協力 ・「聖徳太子プロジェクト推進協議会」(事務局:奈良県)への参加 ・天王寺区歴史文化を活かした地域主体のイベントへの支援 ・真田街道ガイドと真田氏ゆかりの地スタンプラリーへの参加 ・吹奏楽フェスティバルの開催 1回(オンライン開催) ・上町台地周遊マップ(2年度版)の増刷・配布 10,000部 ・天王寺七坂顕彰板修繕 1基		—				
	プロセス指標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
	・天王寺区の魅力発信に主体的に取り組む団体等のうち、区による支援が行われていると感じる割合 90%		① (ii)	—			
	戦略に対する取組の有効性	ア	—				